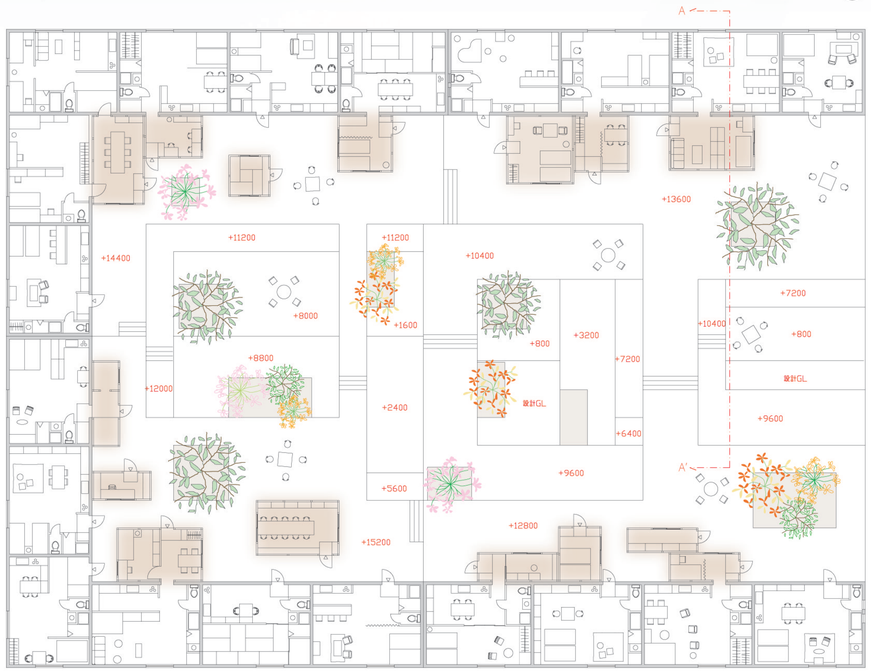
ヒロガッテイクイエ

人々のライフスタイルに順応できない現在の集合住宅では，家や土地が早く捨てられてしまう．集合することで，人々は簡単に自分の土地を捨て，別の場所へと移住し続けてきた．本計画では，人々の多様なライフスタイルに応じて空間が変化していく集合住宅を提案する．
ここでの各住戸は，人々自ら住戸の内側に増築していく．そうすることで，その集合住宅（土地）は人々から長く使われる．外向きは均質に見える本集合住宅だが，その内側では時間と共に繰り広げられる人々の活動により，空間は次々に変貌を遂げていく．これからの集合住宅は常に均質のままではなく，時間の積み重ねにより，空間が多様化していくことが求められる．

フラットな空間の外周に均質な空間を配す　採光のための吹き抜けを開ける　4 つのコーポラティブができる　各層には様々な形態の住戸が増築されていく

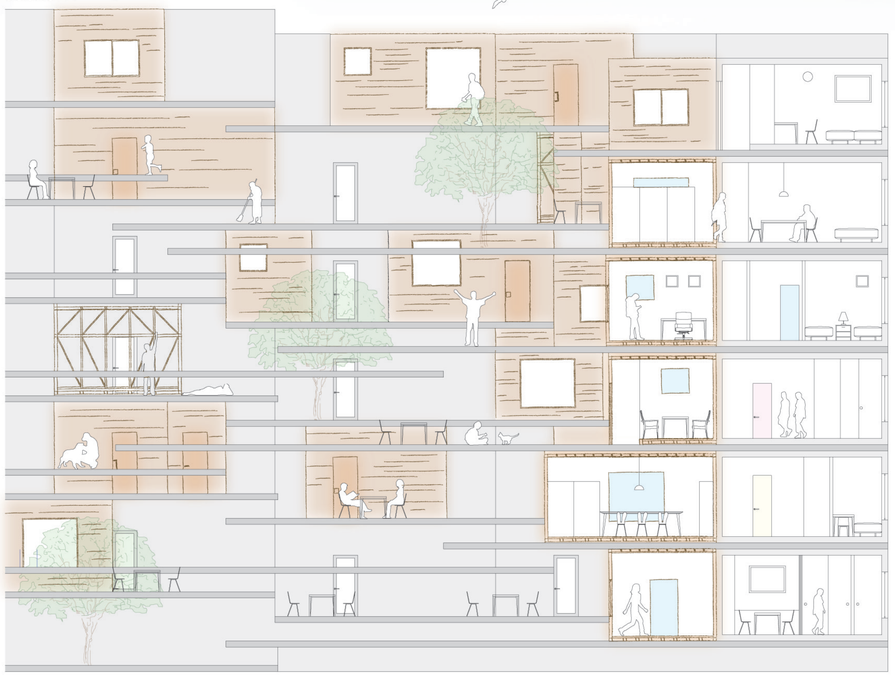
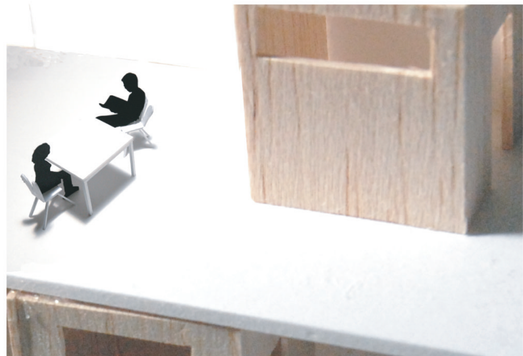
site plan [5 floor]

scale 1:200



section [A-A']

scale 1:100



本集合住宅は外側に対して，閉じた均質空間であり，内側に向かって木造が増築されていく．集合住宅の床スラブは平面上で 4 分割されており，各階それぞれ 800mm ずつずれた形で積層されている．これは数多い世帯に対して単位（領域）を与えることで，より外部空間に対してフレキシブルな可変性を持たせる効果となっている．入居時や，増築の際には各層の住民によりその空間の使われ方が検討される．例えば，ある層では自由に使えるダイニングキッチンがあったり，共同の庭があったり，子供部屋があったり，また 2 世帯住居の離れだったりする．このように時間が，空間が，そして人々の暮らしがこの土地には次々に広がっていく．このようにずっと住み続けられる集合住宅により，都市に残る空地や雑居ビルに対しても人々が住まうようになるに違いない．